

第14回「大学体育スポーツ研究フォーラム」開催要項(第二報)

【期日】 2026年 3月16日(月)

【会場】 札幌国際大学(札幌市清田区清田4条1-4-1)およびオンライン(ハイフレックス方式での開催)

【プログラム】

9:30～ 9:40	開会式
9:40～10:20	大学体育優秀論文賞受賞講演 川井 良介 先生(日本大学)
10:30～11:30	北海道支部主催企画 「eスポーツの現状と大学でのあり方」 話題提供者 坪山 義明 先生(札幌国際大学)
12:15～12:25	UNIVAS情報提供「ドーピング防止教育教材普及について」
12:30～16:20	一般発表14演題(研究報告10演題・事例報告4演題)
16:20～16:30	閉会式、総評:西田順一先生(近畿大学、論文誌編集委員長)
16:40～18:10	情報交換会(大学内で開催予定)

※会場周辺には飲食店がありません。また、最寄りのコンビニまでは徒歩で5分以上かかりますので、昼食は各自ご準備いただきますようお願いいたします。

【各種締め切り】

参加・発表受付開始	2025年12月1日(月)～
申込先URL	https://forms.gle/gx3GCK7xwVrdLvV6
発表申し込み	2026年1月31日(土)まで
プログラム集用抄録提出	2026年2月15日(日)まで
情報交換会申し込み	2026年3月10日(火)まで
参加申し込みおよび参加費納入	2026年3月12日(木)まで

※情報交換会費(4500円)は当日受付の際にお支払いいただきます。

【参加費】 現地参加とオンライン参加の区別なく、参加費は以下の通りです。

発表あり(筆頭発表者のみ)	
機関会員・個人会員・大学院生	1千円 (機関会員かつ個人会員は無料)
非会員	3千円
発表なし	
機関会員・個人会員・大学院生	無料
非会員	3千円

※2020.2開催の第8回フォーラムより、一般発表者のうち参加費納入義務は筆頭発表者のみとなりました。フォーラムに参加されない第二発表者以降の方の参加費納入は不要です。

【振込先】

常陽銀行0130 研究学園都市支店104 普3976640 公益社団法人全国大学体育連合研究部

【参加方法】

発表・参加申し込みをされた方にZoomのURLおよびプログラム・抄録集を送信いたします(3月13日(金)配信予定)。

【発表について】

- ・ 発表はZoomとプレゼンテーションソフト(PowerPoint等)を用いて行います。現地、オンラインいずれでも発表することができます。発表時間は12分、質疑応答は3分となります。発表時間は演題数によって短縮される場合があります。
- ・ 発表において使用する言語は日本語に限定させていただきます。
- ・ 優れた内容の発表は『優秀発表賞』として後日に表彰します。

【発表抄録の提出について】

2023.3開催の第11回フォーラムより、発表抄録は大学体育スポーツ学研究の「フォーラム報告」に掲載される様式(700文字以内)を兼ねています。様式ファイルを使用して期限厳守での提出をお願いいたします。

【第14回大学体育スポーツ研究フォーラム実行委員】

- 委員長:小林 秀紹(札幌国際大学)
- 委員:横山 克人(札幌国際大学)
- 委員:林 二士(札幌国際大学短期大学部)
- 委員:坪山 義明(札幌国際大学)
- 委員:安田 純輝(札幌国際大学)

【大学体育スポーツ研究フォーラム運営委員】

- 委員長:田原 亮二(西南学院大学)
- 副委員長:中山 正剛(スポーツ庁)
- 幹事:木内 敦詞(筑波大学)
- 委員:藤野 和樹(千葉商科大学)
- 委員:梶田 和宏(京都先端科学大学)

【発表抄録提出・お問い合わせ先】

14th.forum.2026@gmail.com (担当:田原・中山)

一般発表演題一覧

【日程】3月16日(月) 12:30~16:20

【内容】14 演題 (研究報告 10 演題, 事例報告 4 演題)

【時間】発表 12 分, 質疑応答 3 分, 計 15 分間

【第1セッション】(現地発表&オンライン発表) 12:30~13:45

研究-1	12:30~12:45	国内におけるメンタルヘルスリテラシー尺度に関する国内文献レビュー
	○菅野慎太郎(日本大学)	
研究-2	12:45~13:00	学生アスリートのライフスキルの特徴を捉え直す: 日本語版Life Skills Scale for Sport(LSSS-J)を用いた検討
	○藤島将太(近畿大学大学院), 西田順一(近畿大学)	
研究-3	13:00~13:15	トランプカードを用いたペア編成に対する学習者の主観的評価
	○大坪俊矢(崇城大学), 藤原大樹(崇城大学), 柿山哲治(福岡大学)	
研究-4	13:15~13:30	自己主導型の個別課題練習に基づく体育実技授業モデルの開発: ICTを活用した大学専門体育における実証的検討
	○加畑碧(筑波大学大学院), 松浦稜(琉球大学), 堀口文(山梨大学/筑波大学大学院), 狩野莉奈(筑波大学), 本間三和子(筑波大学)	
研究-5	13:30~13:45	実技・講義・宿題の組み合わせによるハイブリッド型授業の効果: 大学生の身体活動自己管理能力と身体活動量の変化に着目して
	○堀口文(山梨大学/筑波大学大学院), 高木英樹(筑波大学), 木内教詞(筑波大学), 松浦稜(琉球大学), 高橋靖彦(秋田ノーザンハピネッツ), 前原千佳(筑波大学), 金谷麻理子(筑波大学)	

【第2セッション】(現地発表) 13:55~14:55

研究-6	13:55~14:10	体カテスト結果からみた大学生の生活習慣変化
	○石倉恵介, 櫛部静二, 平塚潤, 東海林毅, 長澤淑恵, 千葉佳裕, 篠原康男, 松田晃二郎(城西大学)	
研究-7	14:10~14:25	大学生におけるスポーツ実施状況の特徴と関連要因: スポーツの実施状況等に関する世論調査の二次分析
	○中山正剛(スポーツ庁/九州大学大学院), 田原亮二(西南学院大学)	
研究-8	14:25~14:40	非認知能力の特性に着目した大学体育実技授業の教育的効果
	○難波秀行(大阪大学), 上村明(和洋女子大学), 小見山高明(大阪大学), 島本英樹(和洋女子大学), 七五三木聡(大阪大学)	
事例-1	14:40~14:55	バーチャルスポーツHADOの地域・大学における実践について
	○村本宗太郎(立教大学)	

【第3セッション】(オンライン発表) 15:05~16:20

研究-9	15:05~15:20	シラバス分析による大学スノースポーツ実習の授業設計の検討
	○永井将史(東京女子体育大学), 坂本昭裕(筑波大学)	
研究-10	15:20~15:35	ウェアラブルデバイスを用いた運動・睡眠指標の多角的測定と関連性の評価
	○細川賢司(名古屋芸術大学)	
事例-2	15:35~15:50	体育実技科目における当該競技経験者にとっての学びと意義: 「生涯スポーツ演習(フットサル)」受講者の記述を手掛かりとして
	○岸本栄嗣(京都芸術大学)	
事例-3	15:50~16:05	振り返りを重視した大学ダンス授業の実践報告: フォームを活用した自己評価とフィードバックを通して
	○川上美里(十文字学園女子大学), 田中安理(常葉大学), 多田五月(帝京大学), 清水文子(十文字学園女子大学), 飯田路佳(十文字学園女子大学)	
事例-4	16:05~16:20	『苦手』が『楽しさ』に変わる瞬間: 心理的安全性を重視したダンス授業における学習者の意識変容
	○飯田路佳(十文字学園女子大学), 川上美里(専修大学), 田中安理(常葉大学), 多田五月(帝京大学), 清水文子(十文字学園女子大学)	